

## 米山奨学生紹介

2022-23年度米山記念奨学生

### 「マレーシアから来て」

アリシャ ヌルシャフィカ ビンティ アマト ダラン

室蘭工業大学・室蘭北RC

こんにちは！私は室蘭北RC米山奨学生のアリシャ ヌルシャフィカ ビンティ アマト ダラン (ALISHA NURSHAFIQAH BINTI AMAT DALAN) です。名前が長いので、いつもアリシャと呼ばれています。私はマレーシアから来ました。現在、室蘭工業大学で勉強して、大学院2年生になりました。あと一年間米山奨学生としてお世話になります。本当にありがとうございます。

今年で私は日本に来て4年になります。初めて日本に来たのは2019年です。その時、私は室蘭工業大学に3年学部生として編入しました。学部を卒業した後、大学院に進学しました。大学院ではもちろん勉強と研究が難しくなりますが、様々なことを経験できました。勉強以外に私は学生TAとして、電気電子材料実験を担当し、実験に困っている学部生を手伝ってきました。また、私はローターアクトクラブに参加しました。

ローターアクトクラブの活動の一つとして、若者と高齢者をつなぐための勉強会や情報収集をすることで何か奉仕活動が出来ないか皆で話し合いをしています。そのことにより、異なる年齢や背景などの人たちと交流し、コミュニケーションやチームワークができました。そして、新しい友達もできました。

大学で私は情報電子工学専攻、電子デバイス計測コースを受けました。電気電子に強い興味を持っていますので、それらを具体的に学ぶため、大学院に進学することを決めました。大学院では学部時代と同じ高圧電子物性研究室に所属し、熱電変換・超伝導・半導体分野において、電子が関わる物質が圧力-温度変化でどのようにふるまうか研究を行っています。

2019年にCeCoSiという希土類化合物の単結晶の合成が初めて報告されました。このCeCoSiが圧力下で構造相転移を示すことが私たちのグループの先行研究で明らかになりました。私の研究の目的は、圧力下の粉末X線回折と精密構造解析（リートベルト解析）と単結晶精密構造解析によって、CeCoSiで現れている結晶構造と物性を結晶構造の観点から明らかにすることです。そして、リートベルト解析と単結晶構造解析の結果から希土類化合物の結晶構造、格子パラメータ、構造パラメータ、ボンド長およびボンド角を知ることができます。それぞれの情報は電気・磁気特性などの議論や評価に対して重要な情報になると考えております。

半年間頑張って解析をやり続けた結果、最後に圧力下におけるCeCoSiのリートベルト解析に成功しました。そして、第62回高圧討論会や2020年希土類国際ワークショップで、CeCoSiのリートベルト解析で得られた結果について発表でき、この結果は学術論文の一部にもなっています。卒業後に私は日本でエンジニアとして就職したいです。将来、自分の力と学んだことを社会と技術分野に生かして、ずっとマレーシアと日本の架け橋を作りたいです。

最後になりますが室蘭北RCの皆様そしてカウンセラーの川本先生にはいろいろお世話になっております。今後ともよろしくお願いたします。



2022-23年度米山奨学生

## 「ロータリークラブに支えられて」

ニュー チョウン バオ チャン  
北洋大学・苫小牧東RC

私の名前は NHIEU TRUONG BAO TRAN（ニュー チョウン バオ チャン）といます。2000年3月14日生まれの22歳で、出身はベトナムのホーチミン市です。2019年3月に留学のため日本へ来ました。北洋大学国際文化学部、キャリア創造学科の4年生に所属しています。

私は外国語や海外の文学と文化を勉強することが好きで、北洋大学に入学して、日本語だけではなく、日本の伝統文化や海外の文化、英語や中国語の授業も受けて、沢山の外国語を勉強しています。

日本へ来てから、自分の新しい趣味を見つけました。それは料理です。ベトナムにいる時は家族と暮らしていて、毎日のご飯を母が作ってくれていたため、ほとんど料理を作ったことがありませんでした。一人暮らしを始めてから、自分のお弁当や晩ごはんを作るようにしています。最初は材料の準備や作り方、味付け方が全く分からずに困りましたが、インターネットや日本料理の番組を見て勉強し、今では新しい料理を作ったり、自分に合う味付けを探したりしています。

日本へ来て、あっという間に留学する期間が終わります。3年半前の日本へ来たばかりの時を振り返ってみると、言葉も文化も習慣も分かりませんでした。今は日本語や生活、また日本の文化や習慣をきちんと理解して、毎日楽しく過ごしています。ベトナムにいる時は、賑やかな街に家族と一緒に暮らし、街に出ると、沢山のバイクが走って、人もたくさんいて、盛りあがっています。そこは日本との違いだと思います。日本は、あまりバイクは走っておらず、私の住んでいる苫小牧市は静かで、自然が多い街なので、最初は寂しくてホームシックになり、母国に帰りたかったです。しかし、落ち着いた街に住んでいて、精神的にリラックスできて、勉強することに集中できます。

昨年、3年生の時に、ロータリー米山記念奨学会に奨学生として選ばれて、とても嬉しかったです。その時、日本の生活にだいぶ慣れてきましたが、周りにあまり友達や知り合いがなくて、出かけた時や話したい時、悩みを相談したい時など、いつも一人で寂しかったです。苫小牧東RCに参加させていただくことになり、これから自分を支えてくれるところがあると思いました。ロータリー米山記念奨学会の方々や苫小牧東ロータリークラブの方々にお世話になって、1年目の時、コロナ禍で色々な活動が中止されましたが、例会に出席してクラブの方々たくさん交流することができました。2年目に、コロナ禍が収まりつつあり、クラブの方々たくさんの交流活動に参加できています。年末年始のパーティーに初めて日本で自分の国の服を着て出席して、周りの皆様が褒めてくれたり、一緒に写真撮ってくれたり、一緒に年末を送り、新年を迎え、家族のような雰囲気、寒い冬に心が温まり、とても嬉しかったです。

学校生活はもうすぐ終わってしまうので、今は就職活動をしています。簡単ではなく、いくつかの企業に面接を受けましたが、すべて落ちてしまいました。自分はダメなのかもしれないと何度もくじけそうになりましたが、ロータリー米山記念奨学会の方々や苫小牧東RCの方々にいつも応援していただいて、ここで諦めてしまえば日本に留学した意味がなくなってしまうので、改めて、自分の長所を見つめ直し、その強さを日本語で面接する時に、発表できるように練習しています。これからも就職活動は続いていくので、大変なこと、悲しいことがあると思います。苫小牧東RCとロータリー米山記念奨学会の皆様には迷惑をおかけするかもしれませんが、いつも応援していただいて本当に感謝して、頑張っていきたいと思っています。

